

平田村過疎地域持続的発展計画の概要

平田村 総務課
TEL 55-3111

基本的事項

◇過疎地域持続的発展計画

持続可能な社会の形成と地域資源などを活用した地域活力のさらなる向上の実現に向け、過疎地域の持続的発展を支援し、人材の確保や育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上などに寄与することを目的に、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が令和3年4月1日に施行された。

過疎地域持続的発展計画は、この法律に基づき、地域活性化などの取り組みを推進していくための計画である。

当初計画期間の5年が経過したことから、前計画を踏襲しながらも全面改正をした計画である。

◇基本方針

地域の特性に基づいた独自のむらづくり方針を定め、地域の資源や可能性を掘り起こし、有効に活用していく地域力が必要である。このような現状を踏まえ「平田村過疎地域持続的発展計画」の策定にあたっては、「平田村総合計画」等の計画との整合性を考慮し、住民参加による行政運営、生活環境整備、産業振興、学校教育環境、福祉の向上及び増進などの諸事業を展開し、住みよく活力あるむらづくりを進める。

◇計画期間

令和8年度～令和12年度（5年間）

◇人口の現状

本村の人口は、昭和30年の10,752人をピークに平成27年までの60年間で4,247人（39.5%）減少している。

高齢者比率は、昭和35年は5.0%であったが平成27年には29.7%まで上昇している。

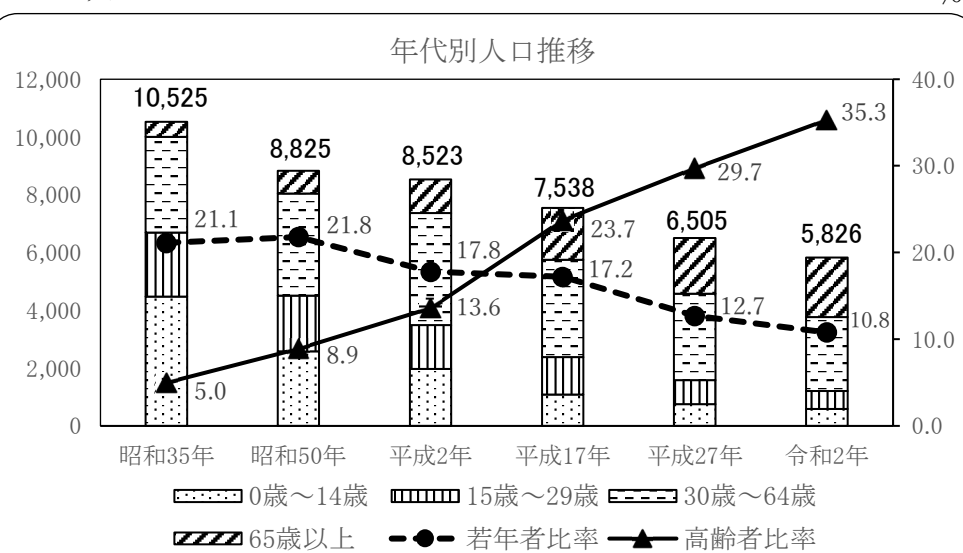
◇過疎地域指定要件(法第2条第1項第2号)

(1) 財政力指数が0.4以下

(2) 昭和50年から平成27年までの40年間で23%以上人口減少

○平田村 財政力指数 0.28 (H29～R元の平均)

人口(国調) 昭和50年 8,825人 平成27年 6,505人
増減 2,320人減少(減少率26.3%)



◇将来像

自然に包まれ健康でおだやかな暮らしのできる高原のむら

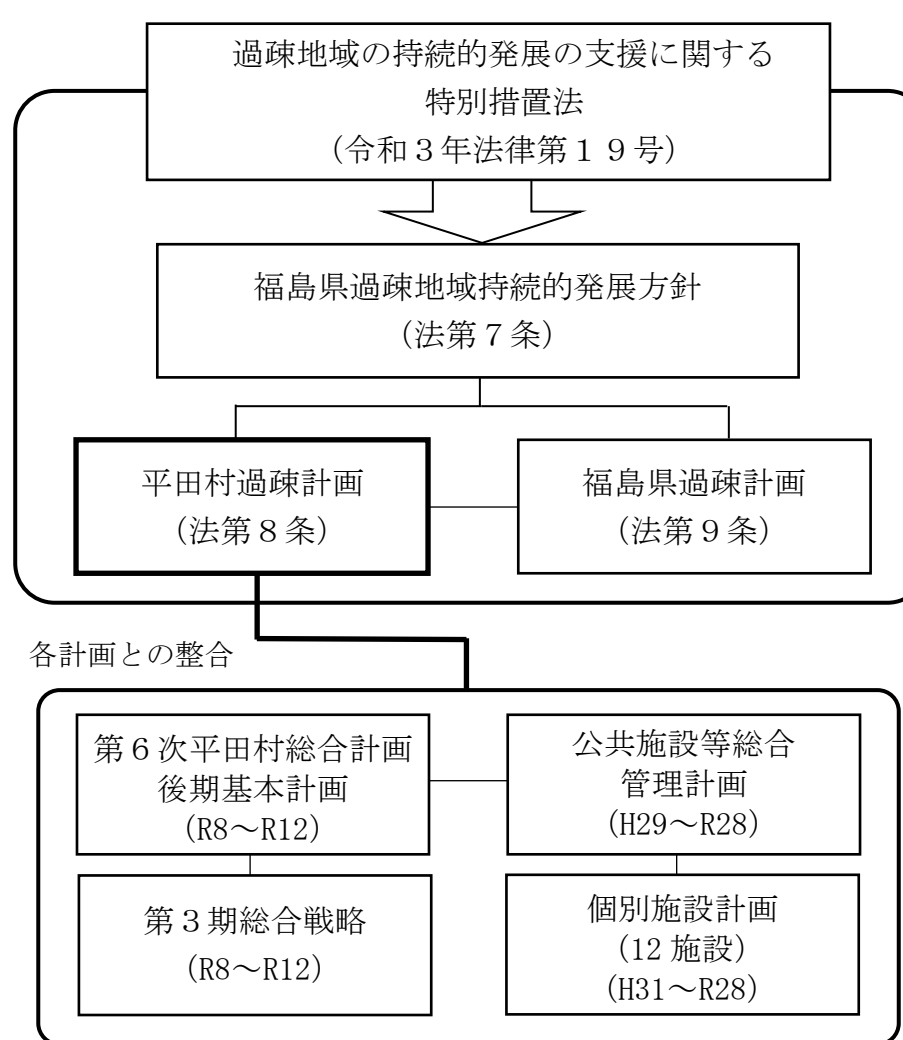
基本的な方向

◇基本目標

「みんなで作る 誰もが笑顔で暮らせる地蔵可能な村」の実現

- ・人口 5,204人▶▶ 4,800人
- ・社会増減の抑制(転入-転出) △126人▶▶ △100人
- ・合計特殊出生率 1.29‰▶▶ 1.4172‰(パーミル)
- ・定住意向(アンケート結果) 66.9%▶▶ 70.0%
- ・暮らしやすさ(アンケート結果) 55.3%▶▶ 60.0%

◇計画体系



◇施策の方向

- 第1章 みんなつながる 住みよい平田村
 - 第1節 立地条件を活かしたむらづくり
 - 第2節 災害に強い快適な都市環境づくり
 - 第3節 若者が選ぶむらづくり
- 第2章 みんなで支え合う 安全安心な平田村
 - 第1節 参加と連携による安全・安心な暮らし
 - 第2節 村民総参加によるむらづくり
 - 第3節 社会の変化に対応できる行政財産運営
- 第3章 みんなすこやか 福祉充実の平田村
 - 第1節 オールひらたで応援する子育て支援
 - 第2節 お互いを尊重し合う福祉のむらづくり
 - 第3節 健康に暮らせる保健医療環境の確保
- 第4章 みんなにぎわう 産業振興の平田村
 - 第1節 次代につなぐ農林畜産業
 - 第2節 やる気で稼ぐ仕事おこし
 - 第3節 地域の宝を活用した発信
- 第5章 みんなはれやか 学びつなぐ平田村
 - 第1節 家庭・地域と連携した学校教育
 - 第2節 地域に根差した生涯学習
 - 第3節 歴史と文化の伝承

◇計画の項目

- 1 基本的な事項
- 2 移住・定住・地域間交流の促進, 人材育成
- 3 産業の振興
- 4 地域における情報化
- 5 交通施設の整備、交通手段の確保の促進
- 6 生活環境の整備
- 7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
- 8 医療の確保
- 9 教育の振興
- 10 集落の整備
- 11 地域文化の振興等
- 12 再生可能エネルギーの利用の促進

平田村過疎地域持続的発展計画概要
主な事業、主な目標（指標・満足度）

1 基本的な事項
・平田村の概況
・人口及び産業の推移と動向
・行財政の状況
・地域の持続的発展基本方針
・地域の持続的発展のための基本目標
・計画期間
・公共施設等の総合管理計画との整合目標(満足度)
・定住意向 66.9%▶▶R12 調査▶▶70.0%
・暮らしやすさ 55.3%▶▶R12 調査▶▶60.0%

2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成
主な事業
・平田村結婚新生活支援事業
・地域おこし協力隊推進事業
・定住促進住宅取得支援事業(特別事業)
目標(指標)
・転入者数-転出者数 △126▶▶△115 人
・婚姻数 6▶▶10 件
・関係人口 19,500▶▶22,000 人
・移住支援事業による転入世帯数(累計) 3▶▶15 人

3 産業の振興
主な事業
・農地中間管理機構関連農地整備事業
・多面的機能支払交付金事業
・花卉野菜振興事業
・畜産振興防疫事業
・ライスセンター整備事業
・集落営農組合事業
・ふくしま森林再生事業
・地域6次産業化連携強化事業
・ジュニアアットひらた維持管理整備事業
・農業次世代人材投資事業(特別事業)
・農作物等減収対策事業(特別事業)
目標(指標)
・企業誘致数 0▶▶1 企業
・観光集客者数 240,000▶▶280,000 人
・農産物販売額 10.1▶▶11.0 億円
・道の駅売上高 2.5▶▶3.0 億円

・認定農業者数 65▶▶68 人
・新規就農者数 2▶▶3 人
・遊休農地面積 10▶▶10%
・芝桜まつり来場者数 46,000▶▶50,000 人
・あじさいゆりまつり来場者数 18,000▶▶26,000 人
目標(満足度)
・働きがいのある職場 △2.52▶▶R12 調査▶▶△2.50
・農畜産業林業の振興 0.29▶▶R12 調査▶▶ 0.31
・公共施設の適切な配置 0.69▶▶R12 調査▶▶ 0.71
・観光レクリエーション施設整備 △0.10▶▶R12 調査▶▶△0.08

4 地域における情報化
主な事業
・防災行政無線設備保守管理事業
・光ファイバー I R U 事業(保守管理)
・ホームページ情報発信事業(特別事業)
目標(指標)
・平田村公式 SNS フォロワー登録者数 2,800▶▶3,800 人
目標(満足度)
・情報通信体系整備 △0.69▶▶R12 調査▶▶△0.67

5 交通施設の整備、交通手段の確保
主な事業
・道路改良舗装事業
・路線バス運行補助事業(特別事業)
・生コン等支給事業(特別事業)
目標(指標)
・重大交通事故発生件数 1▶▶0 件
・村道改良率 48▶▶49%
・村道舗装率 64▶▶67%
・路線バス等乗降者数 18,230▶▶19,000 人
目標(満足度)
・道路の整備状況 △0.32▶▶R12 調査▶▶△0.30
・交通機関の便利さ △3.94▶▶R12 調査▶▶△3.92
・行政からの情報提供 1.78▶▶R12 調査▶▶ 1.80

6 生活環境の整備
主な事業
・簡易水道施設更新事業
・農業集落排水施設更新事業
・民間賃貸住宅家賃補助事業
・石川地方生活環境施設組合負担金
・井戸掘削事業(特別事業)
・防犯灯整備事業(特別事業)
・合併処理浄化槽設置事業(特別事業)
目標(指標)
・一人当たりごみ排出量 186▶▶176kg
・管路の耐震化率 75▶▶ 77%
・有収率 82▶▶ 86%
・汚水処理人口普及率 68▶▶ 72%
・自主防災組織防災活動実施件数 1▶▶2 基
目標(満足度)
・自然の豊かさ 5.69▶▶R12 調査▶▶ 5.71
・火災や災害からの安全性 3.75▶▶R12 調査▶▶ 3.77
・防犯・交通安全施設整備状況 1.69▶▶R12 調査▶▶ 1.71
・騒音振動悪臭等の環境 2.51▶▶R12 調査▶▶ 2.53
・ごみの収集・処理の状況 4.39▶▶R12 調査▶▶ 4.41
・上水道等の整備状況 2.72▶▶R12 調査▶▶ 2.74
・下水道m p 整備状況 1.83▶▶R12 調査▶▶ 1.85
・日常の買い物の便利さ △2.80▶▶R12 調査▶▶△2.78

7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
主な事業
・社会福祉協議会運営活動補助事業
・村民憩いの場整備事業
・放課後児童クラブ運営事業
・乳幼児等医療費助成事業(特別事業)
・タクシー利用助成事業(特別事業)
・高校等通学支援事業(特別事業)
・赤ちゃん誕生祝金・子育て支援金(特別事業)
目標(指標)
・メボリックシンドローム割合 31.6▶▶31.0%
・特定健康診査受診率 54.1▶▶60.0%
・カフェひだまり開催数 12▶▶ 12 回
・合計特殊出生率 1.29▶▶1.41%
・出生数 16▶▶20 人
・後期高齢者一人あたり医療費 966▶▶975 千円

・いきいきサロン利用者数 2,400▶▶2,500 人
目標(満足度)
・公園等の整備状況 0.16▶▶R12 調査▶▶0.18
・保育子育て環境 2.15▶▶R12 調査▶▶2.17
・保健・医療サービスや施設整備の状況 2.17▶▶R12 調査▶▶2.19
・福祉サービス施設整備状況 2.02▶▶R12 調査▶▶2.04

8 医療の確保
主な事業
・石川郡医師会在宅当番医負担金、周産期小児地域医療支援講座負担金(特別事業)

9 教育の振興
主な事業
・小中学校スクールバス運行事業
・学校給食センター改修事業
・小中学校情報機器更新事業
・フィットネスクラブ利用機器整備事業
・青少年健全育成村民会議事業
・図書整備事業(購入・情報提供)
・スポーツ活動推進事業
・語学指導外国青年招聘事業(特別事業)
・学校給食費補助事業(特別事業)
目標(指標)
・本を1か月に2冊以上読んだ児童の割合 91.5▶▶ 95.0%
・本を1か月に2冊以上読んだ生徒の割合 61.4▶▶ 70.0%
・地産地消給食実施 15▶▶ 15 回
・公民館利用者数 13,486▶▶14,000 人
・図書の年間貸出冊数 2,327▶▶ 2,400 冊
・体育施設利用者数 24,865▶▶26,000 人
・文化団体連絡協議会加入数 10▶▶11 団体
・自主サークル移行数 5▶▶ 6 団体
目標(満足度)
・スポーツ活動や施設整備状況 1.74▶▶R12 調査▶▶1.76
・生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況 1.56▶▶R12 調査▶▶1.58
・子どもの教育環 1.37▶▶R12 調査▶▶1.39

10 集落の整備
主な事業
・地域づくり支援事業
・小さな交流拠点整備事業(特別事業)
目標(満足度)

・人情味や地域の連帯感 1.86▶▶R12 調査▶▶1.88
・集会所など施設整備状況 2.19▶▶R12 調査▶▶2.21

11 地域文化の振興等
主な事業
・伝統文化の保存伝承事業(特別事業)
・文化財保存整備事業(特別事業)
・文化祭実行交付金(特別事業)
目標(満足度)
・名所や文化財の保護 1.98▶▶R12 調査▶▶2.00
・ボランティア活動の支援 1.45▶▶R12 調査▶▶1.47

12 再生可能エネルギーの利用促進
主な事業
・電気自動車急速充電設備設置事業
・電気自動車導入事業
目標(指標)
・次世代型公用車導入台数 0▶▶1 台

指標(指標)
第6次平田村総合計画後期基本計画・総合戦略に設定されている目標

指標(満足度)
第6次平田村総合計画後期基本計画策定の際実施した村民アンケート中「村の各環境に関する満足度」

目標(満足度)計算方法
村民アンケート 満足度調査区分 A=不満である B=やや不満である C=どちらともいえない D=やや満足している E=満足している 【満足度計算式】 (E×10+D×5+C×0+B×-5+A×-10)/(A+B+C+D+E)

特別事業
特別事業＝過疎地域持続的発展特別事業(ソフト事業)